

支部協びより

第76号

発行所
 NTT労組退職者の会
 沖縄県支部協議会
 沖縄県浦添市城間4-35-2
 ☎098-870-7101
 Fax.098-875-7450
 責任者
 黒島善市



総選挙について思う

会長 黒島善市

七月三十一日、自民党のマニフェスト(政権公約)がようやく発表された。他

政党から遅れること約一週間。他党のマニフェストを横目にしながらであろうことは見え見えだが、これですべてのマニフェストが出揃った。

この公約を見てこれから四年間を、私たちが安心して生活していくのには、どの政党なのか決めなければならぬ。

自民党麻生総理は言う。政権政党として安全・安心は我が党だと。ならば問う。小泉総理を含む総理四人の四年間で、私たちは安心して暮らしてきただろうか。結果はご承知のとおり否だ。責任を取ってお辞めいただきたい。

政権交代で変わることは、教科書問題や日米密約など政府に不利なことでも、無

かったとか言わせないことだ。事実は事実として歴史を曲げず、反省し未来に向け進めばいいと思う。

「第45回衆議院議員選挙」の必勝を期し 私たちの手で『政権交代』を!

執行委員長 濱元盛任

「暑い・熱い選挙戦」をみんなの力を結集し闘い抜こう!」

8月に入り、早朝の蝉の鳴き声になお一層の暑さを感じる今日・この頃ですが、如何お過ごしでしょうか?

現在、NTT労組沖繩総支部においては、8月21日の第8回定期大会に向け、組合員との対話会を実施しており、この一年をしっかりと総括し、更なる飛躍をめざし2009年度の活動方針決定に繋げていきたい

特にこの四年間で生活は破壊され、国債33兆円増発、国の借金は86兆円(国民一人当たり約674万円)と莫大となり、行く末も不安は増すばかりだ。子や孫にこれ以上の負担・不安をさせないためにも、自公政権に終止符を!!

と考えているところであり、さて、いよいよ国民の手で、私たち一人ひとりの手で、『政権交代』を成し遂げ、高齢者や障がい者、子供たちや働く者に優しい社会を築く歴史的な場面・ステージ・闘いが目の前に迫ってきました。

8月30日の投・開票が決まった「第45回衆議院議員選挙」に、私たち組合員・退職者の会・家族の総力を結集し、この格差の広が

た社会、医療や年金・介護・教育などの社会保障制度をなおざりにし、大企業を優先してきた自公政権に「NO!」というレッドカードを突き付け、民主党を基軸とした「納税者・生活者のための政治」を取り戻しましょう。

私たち情報労連・沖縄県協議会は、民主党公認の「3区・玉城デニー」「4区・瑞慶覧チヨビン」を中心とし、「1区・下地ミキオ」「2区・テルヤ寛徳」の推薦決定を行い、沖縄建労組・テルウエル労組の組合員・家族と一丸となつてこの「暑い・熱い」選挙戦を闘い抜くこととしています。

「政治が代われれば、暮らしが変わる」今・このチャンスをつかみ取らなければ、私たちの未来・子供や孫たちに「禍根」を残すことになり、私たちがこの「千載一遇のチャンス」を掴み取り、将来に希望の持てる社会を築いていきましょう!

NTT労組退職者の会の皆様におかれましても、夏バテなどしないよう体調管理に万全を期し、私たちと共に、この歴史的な「政権交代」の立役者となるよう、一人ひとりのご協力をお願いするものです。ゴーヤチャンプルーやナーベラーンプシーを食べ、この暑い夏を乗り切りましょう!

政権交代・今がチャンス

副会長 本永朝昭

「嘘をついてはいけませんよ、うそつきは泥棒の始まり」と教わってきたのだが、嘘をついているのは政府自体ではないか。

元外務省交渉担当官は核持込について、密約交渉をしたと新聞記者に話している。現にアメリカでは密約公文書も公開されている。にもかかわらず、政府は密約はないと言いつつ続けている。また、軍命による集団自決をめぐる教科書検定問題も明らか。沖縄県民が一丸となつて陳情しても、文科省は耳をかそうともしない。沖縄のことなど一地方のたわ言としか見ていない。これが官僚政治の実態です。

このような官僚政治を打破するには政権交代を勝ち取るしかない。民主党を中心とした政権交代が手の届くところまで来ようとしている。

今度の総選挙が政権交代の最大のチャンス到来だ。会員一同が力を結集すれば必ず政権交代は実現する。共に頑張ろう。

自民・公明政治よ さようなら

副会長 垣花 廣光

大企業の保護者自民党と狡猾な公明党が政権を組んでから何年経つか。

自民党が過半数を取り、3分の2を占める自公政権の恐怖を感じたのは私一人ではあるまい。私には自公の利害が非常に一致していることが気になった。

それは、自民党が一党独裁と言われなかったために、また公明党は政権与党の甘い汁に預かりたいためには絶対に必要であった。かつて平和と福祉を唱えた公明党だったが、1957年、朝日訴訟が起きた。健康で文化的な生活を営む権利を保障しよう求めた、憲法25条の裁判である。

今、年金の問題、派遣労働者の無権利状態の問題、介護保険の問題、後期高齢者医療制度の問題等々、国民の生活保障の問題が山積してしまつた。小泉改革のツケである。だからよ、政治の流れを弱者、高齢者、労働者を大事にする政治へ変えなければならぬ。民主党を中心して憲法25条の国民の生活保障を実現し、自公政治に「さようなら」しよう。4年に1度の政権交代の衆議院選挙だ。

見逃すな、兆しを!

幹事 長嶺 瞳

この社会の一員として、今ここに、日々平温に暮らして見えます。今、この暮らしが壊れつつあります。この状態を作り出したのは我々

有権者であり、選択した我々であり、この責任は決して政治家が取れるものでもなく、当然のことながら我々がその責任を取ることになるのです。この状態を決して後生に遺してはならないと思います。

今回の選挙は、今後の社会の在りように道筋をつける、最後のチャンスと思われ、最後の選択となるでしょう。この社会を形成する者の一員として、今そこにある兆しを見逃すことのないように、常に時流を見、判断し、選択しよう。

一人、一人が社会の構成員であることを自覚し、一票に強い意志を込めて投票したいものです。

強者・弱者、老若男女、すべての人々が共生出来る、社会システムをなんとしても維持しなければなりません。このことは決して理想ではありません。当たり前のことなのです。

無責任政党

幹事 本村 嘉英
国民を生かすも殺すも来

歓迎

新会員を御紹介します。
儀間周憲……那覇市
平良洋子……豊見城市
比嘉清孟……那覇市
金城正幸……南風原町

る総選挙で決定。私達が住んでいるこの日本列島、未来も希望もビジョンも全くないこの国、借金だけが一千兆円到達予定。

政治討論会などで与党議員が昔からよく口にしている「我が党は責任政党」について、私は全く理解が出来ないどころか無責任過ぎる。この与党は計り知れない税金の無駄遣いを長年にわたる無視、景気対策を名目に莫大な国債を発行、気がついたら倒産寸前の日本国になり下がった。したたかなこの「無責任政党」は今後も日本国民をだまし続けようとしている。

これ以上税金の無駄遣いと国債を連発する与党に政権を継続させるべきでない。「天下り族とその組織を解体する」民主党に政権交代を期待する。来る総選挙で全ての国民とその子や孫達が平和で豊かに暮らす為に一人ひとり真剣に考える時が来た。沈没寸前の日本列島を救助するには皆さんの一票が如何に重要か、新たな政権交代のチャンスです。棄権せず投票場へ。

**総選挙に向けて
その捉え方**

北部地区協 会長 与那覇誠勝
長年の夢であった政権交代が今実現しそうな現状に

ある。そこで、政権交代して何がどう変わるのか、私なりに考えました。

官僚の天下りで湯水のごとく、たれ流してきた税金の無駄遣い。働く者の首切りして裏では富を蓄積している大企業。その大企業優先政治から消費者優先へ向けて舵取ることなど、まだまだ沢山あると思う。

私達はこのチャンスを見逃さず、とにかく一度でもいから日本の針路を変える意味で現在を変えてみようではないか。自民党はマニフェストで10年後に所得を手取り100万円に増やすと言っている。しかし、議員の任期は4年である。尻きりトランプに終わるのではないか。また、消費税も近々増税をすると言うことです。なぜその前に無駄を改善しようと思わないのか。

私達はそういう自民党に迷わされずしっかりと前を見て、今回の選挙に臨みたいと思います。

チャンス到来

八重山地区協 会長 垣花 格
小泉内閣退陣から麻生内閣までの四年間に総理大臣の投げ出し退陣で三度も変わった。

時の内閣小泉時代に郵政改革選挙で小泉チルドレンを生み衆議院は圧倒的多数

で自民党は2、3条項で弱者切捨ての風潮を作り出してきた。国民の信を問うた訳でもなく、民意に反して政治を牛耳って良いのだからかと疑問を持つ。世論調査が示すように国民は今変革を求めている。過去にないマニフェスト論争。政治意識が動いたと感ずるのは私だけだろうか。

**政権交代で
暮らしを守ろう**

宮古地区協 会長 下里 茂博
私たちは長年、大企業優先・労働者いじめの自民党政権から社会党を中心とした政権を樹立したいと政治活動を行ってきました。

これまでの約10年間は、自公政権から民主党を中心とした政権を勝ち取ろうと頑張ってきました。自公政権による医療や福祉の切捨て、特に後期高齢者医療制度の導入によるお年寄りいじめには、我慢できません。今回沖縄四区に出馬表明している自民候補者は与那国への自衛隊誘致に賛成しています。下地島空港への自衛隊誘致にも賛成でしょう。

民主党から出馬予定の瑞慶覧チヨージンさんは自衛

隊誘致には絶対反対であり、後期高齢者医療制度や暫定税率の廃止を公約しています。政権交代で暮らしを守る。瑞慶覧チヨージンさんを国政に送り出し、日本の政治の歴史を変える瞬間が8月30日の選挙であります。皆の力を合わせて頑張りましょう。

生活基盤を支える憲法

事務局長 長嶺律雄
選挙の時、基軸となる政策として、憲法を守る・憲法九条を守ることをかかげている政党が、私の支持政党となつている。従って、現在は民主党又は少し疑問を持ちながら共産党である。大幅な賃下げを受けて、生活苦を強いられるためか、「NTTの政策」NTT労組の政策」を理解して支持してくれる政党を支持するといっていた現役世代には、驚いたものである。私は、苦勞して子供を育てあげ、土地を買い、やっと思いで我が家を手中にして、いざ戦争となれば、これらの財産は一瞬にして、灰燼に帰すと思つています。何が大切なものか。今の生活を少しでも向上させることか、今の生活基盤を根本的に支えている憲法を守ることをかかっている憲法を、私は論理の出発点だと考えています。

事務局長

◎「朝鮮人に創氏改名を強制させたのではなく自ら望んだのだ」とのたまった人が、総理大臣となり韓国へ乗り込んだ。韓国人の大きな怒りを買った。信頼されていない人だから大きな成果も上げられない。党内でも信頼をなくしても、大臣の椅子は捨てがたい。というわけで、八月十八日解散・八月三十日選挙となりました。今度こそ、同級生だから、同郷だからという思いは捨て、自分の老後や子供たちの将来のために、新しい政府を作ろう。あなたの一票が、あなたが働きかけた一票がよりましな新しい政府を作りあげることが出来る。

◎自衛隊の海外派遣法案で、「戦うべき時には戦う」と勇ましく麻生総理は街頭演説しました。その法案と同時に、「戦争となれば、戦争を決めた各大臣の婦女子や息子・その親族の婦女子や息子および陸海空軍の中核部分の婦女子や息子・その親族の婦女子や息子を、一般兵士とともに、最前線に送るという法律」を制定してほしい。

そのような法案も、同時に提出すれば、その勇ましい言葉に真実味が宿る。イラク侵略戦争やアフガニスタン侵略戦争で、米国の若者がドンドン死んでゆく。マケル・ムーア映画監督が米国の国会議員に「なぜあなたの息子は派兵しないのか。派遣しますか」とインタビューを試みたが、皆、逃げ出していた。